



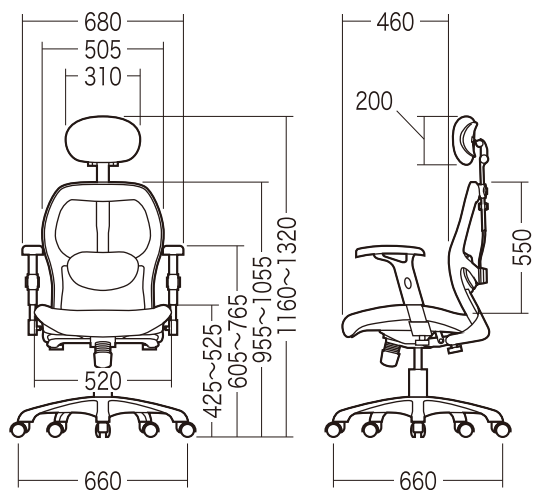
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このOAチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

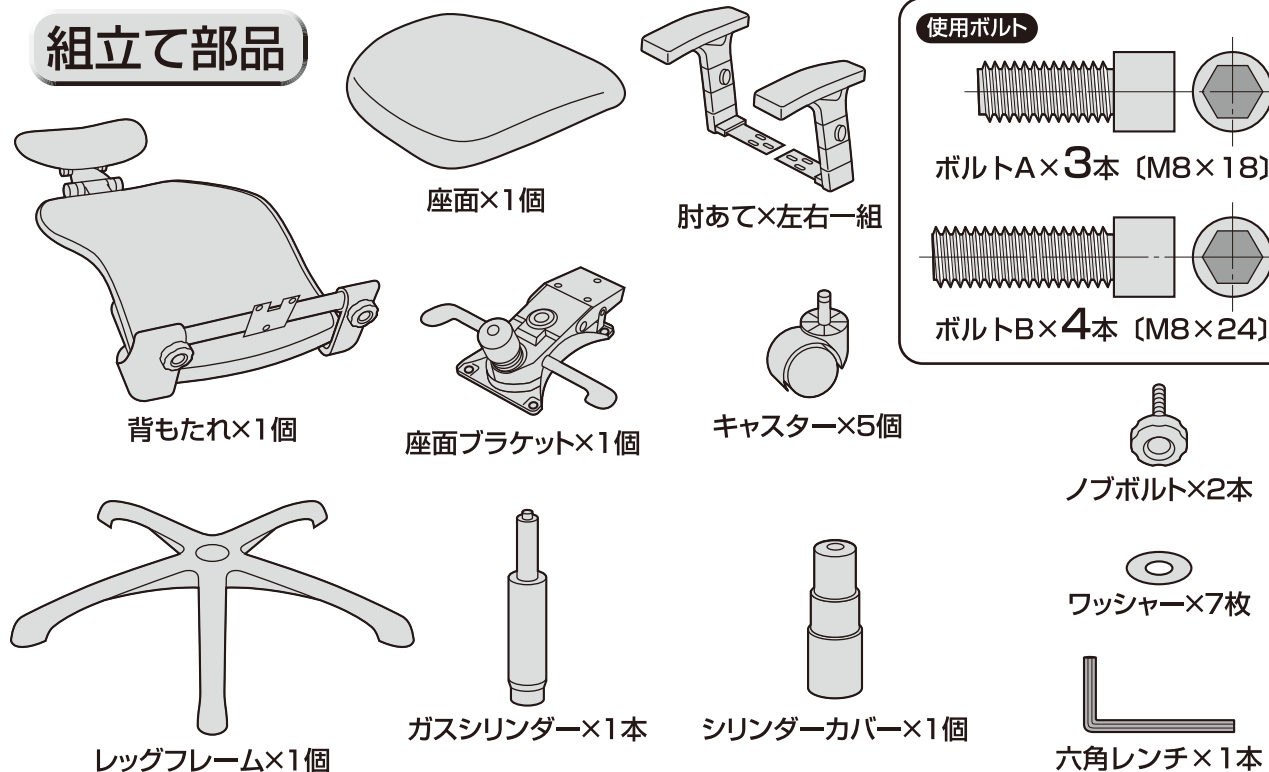
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

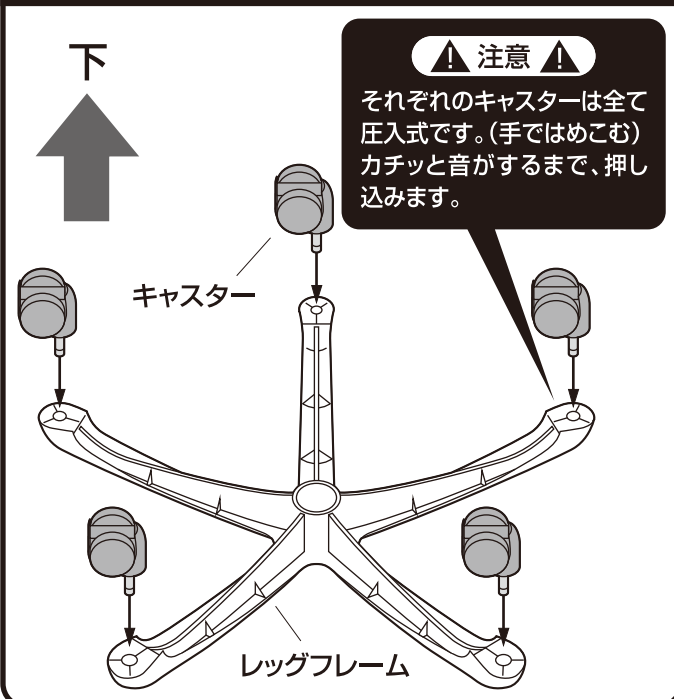
完成図



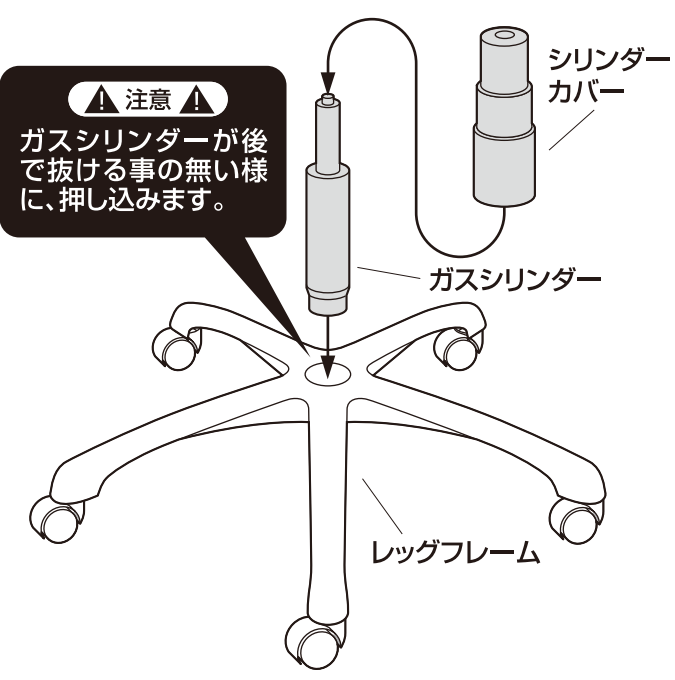
組立て部品



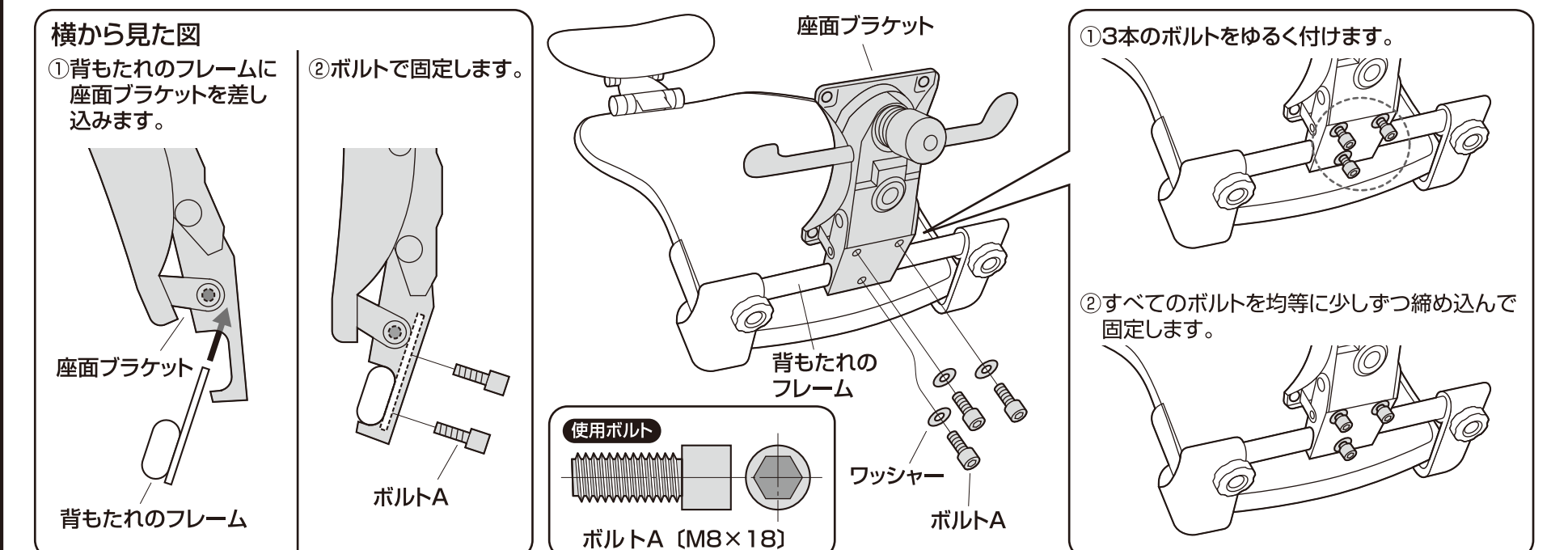
**1 レッグフレームをひっくり返し、
キャスターを取付けます。**



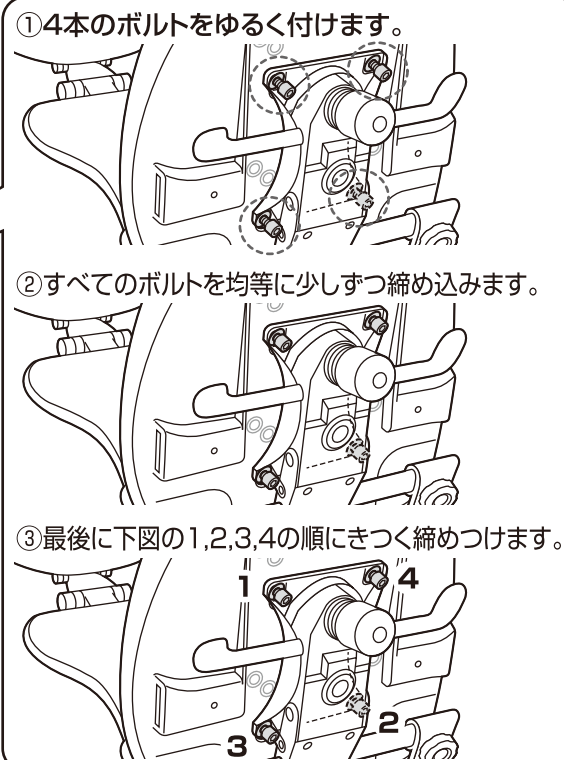
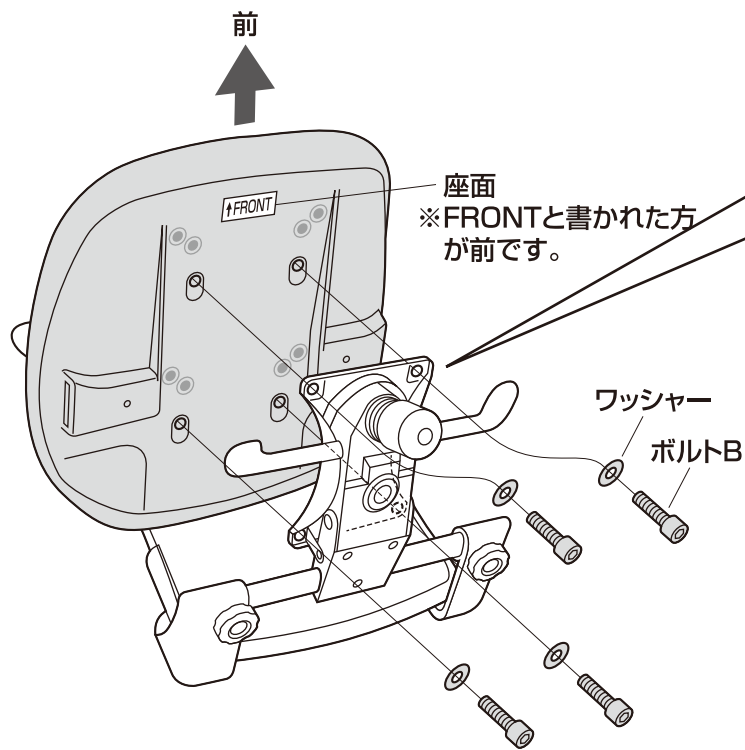
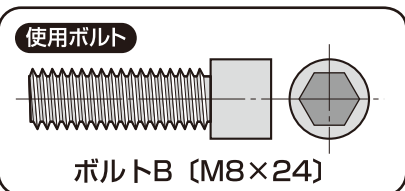
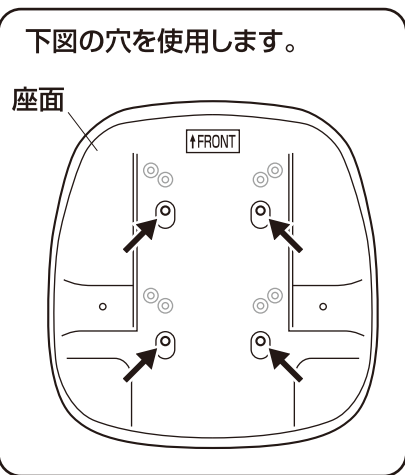
**2 レッグフレームにガスシリンダー
とシリンダーカバーを取付けます。**



3 背もたれに座面ブラケットを取付けます。

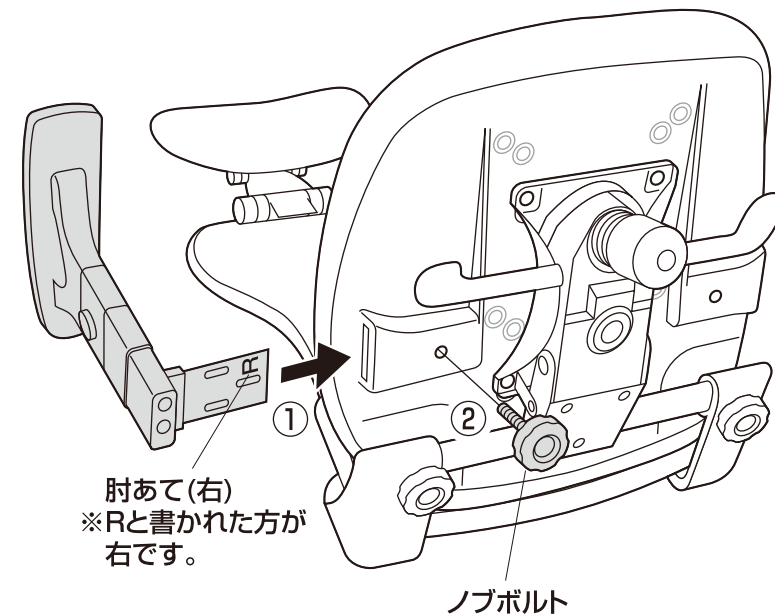


4 座面を取付けます。



5 肘あてを取付けます。

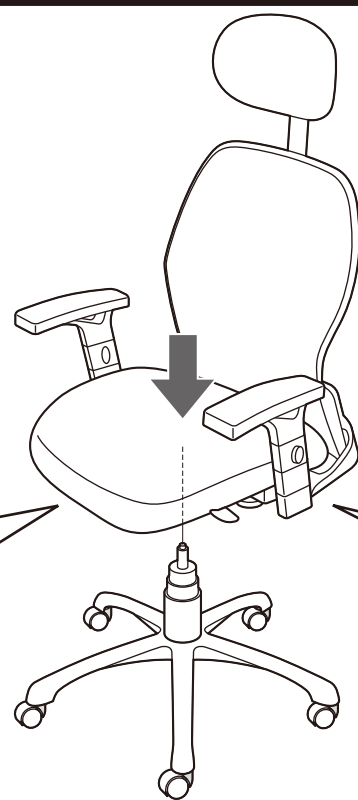
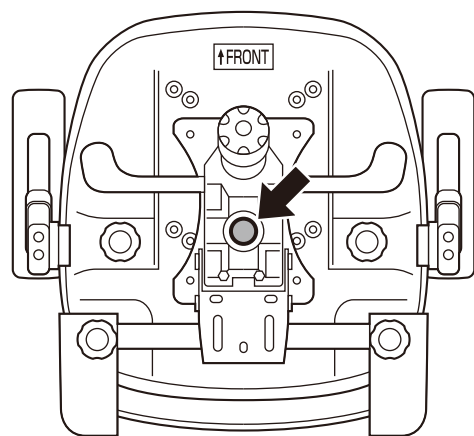
肘あて(右)を座面に差し込んでからノブボルトで固定します。



※同様に肘あて(左)も取付けます。

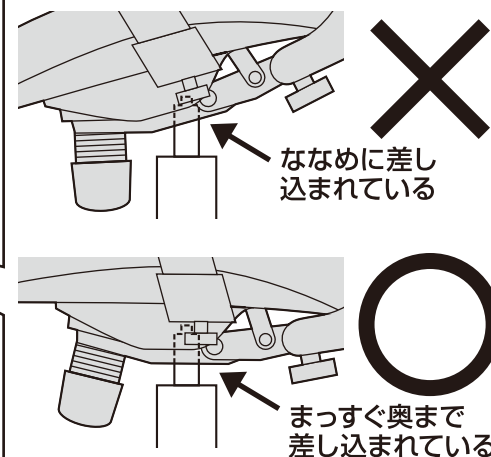
6 ガスシリンダーに座面ブラケットを差し込んで完成です。

下から見た図
※下図の穴に差し込みます。



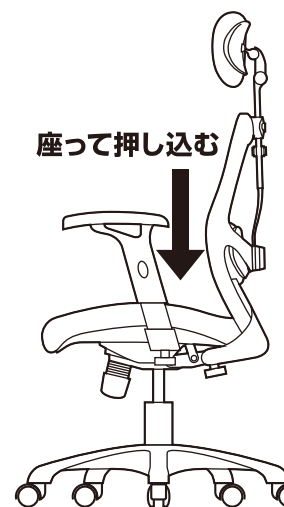
⚠ 注意 ⚠

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットがななめに差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。



※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。

※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。

※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。

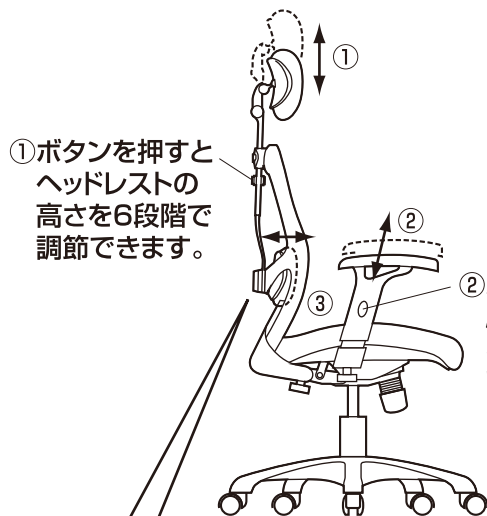
※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

各部の調節方法



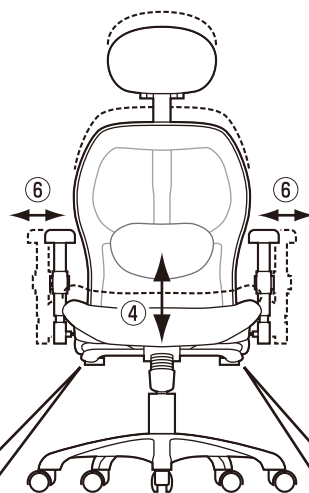
注意

レバーを回転させてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。



①ボタンを押すとヘッドレストの高さを6段階で調節できます。

②ボタンを押すと肘あての高さを5段階で調節できます。



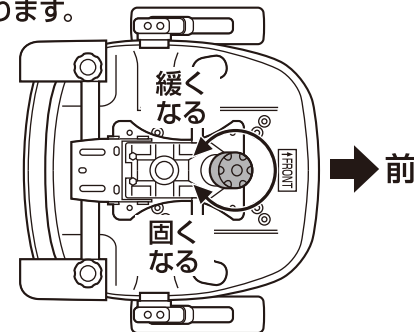
④レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。

⑥ノブボルトを緩めると肘あての左右位置を調節できます。



下から見た図

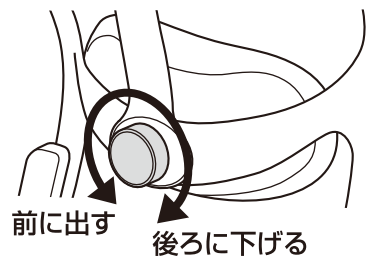
下から見て、ツマミを時計回りに回すとリクライニングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



リクライニング可能

角度固定

⑤リクライニング中にレバーを下方向に回転させると背もたれの角度を4段階で固定することができます。
※リクライニングさせた背もたれを元に戻す時は、再度荷重をかけてください。



③背もたれのツマミを回すとランバーサポートの前後位置を調節できます。

チェアの品質表示

外形寸法：幅680×奥行660×高さ1160～1320mm
(座面高さ425～525mm)

構造部材：座部・背もたれ部/スチール、ポリプロピレン
脚部/スチール キャスター部/ナイロン
張り材：ポリエステル クッション材：ウレタンフォーム

使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面の上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。